

## 第5学年1組 外国語活動指導案

公開授業 I (イングリッシュルーム)

授業者 HRT 千葉 幸江 ALT ハビエル

- 1 題材名 I like apples.  
 2 本題材を通して目指す「確かに分かる」

自分の好みを伝えたり、相手に好きかどうかを尋ねたりしながら積極的に友達とかかわろうとする。

### 3 題材について

本題材では、“I like ~.” や “Do you like~?” 等の表現を使って好みを伝えたり、相手に尋ねたりすることで、友達について知ることが主なねらいである。互いの新たな一面を知ることができ、外国語を使って友達とかかわる楽しさを実感させることができる題材である。

子どもは、英語活動（1～4年）を通して “Do you like~?” の表現に親しんでいる。“Do you like~?” の質問に対して、“Yes, I do.” “No, I don't.” の表現を使って自分のことを伝えようとする姿が見られる。また、ALT の “I like~.” を使った自己紹介を聞き、ALT が好きなものが分かること驚いたりうなずいたりしながら聞く姿が見られることから、話されている内容の大筋をつかんでいることが伺える。

そこで本題材では、互いの好きなものを知ることに興味をもちながら尋ね合えるよう、レストランでのメニュー選びの場面等、場面を設定することで伝えたい思いをもたせる。また、自分の好みを伝えてから相手に尋ねたり、“I see.” とうなずいたり、その際の表情やジェスチャー等で相手の答えに対して自分はどう思ったのかを伝えたりすることを通して、相手意識をもちながら尋ねたり聞いたりするようにさせる。

### 4 題材の構成と時間配当（5時間扱い 本時3／5）

時	1	2	3	4	5
主な活動	サラダの材料で好きなものを “I like ~.” の表現で伝え合う。	“Do you like~?” の表現で好きな飲み物を尋ね、一番人気の飲み物を調べる。	レストランでのメニューを選ぶために、好みを尋ね合う。(本時)	選んだメニューを基に、グループで「Who am I?クイズ」をつくる。	グループごとに出題し、「Who am I?クイズ大会」を開く。

### 5 本時の活動

- (1) 本時のねらい

自分の好みを友達に伝えたり、好きかどうか尋ねたりしようとする。

- (2) 活動の方向（視点とのかかわり）

**【視点1より】好きなものを伝えてから相手に尋ねる表現に慣れ親しませる活動**

日本語でのやりとりでも「オレンジジュースは好きか」と唐突に尋ねることはあまりない。本時では、より自然な流れのやりとりを行わせるために “I like ~. How about you?” の表現を使って、自分の好きなものを伝えてから相手に尋ねさせるようにする。この表現に慣れ親しむために、「I like しりとり」を行う。HRT と ALT によるデモンストレーションでしりとりの様子を見せる。その後、ALT の “I like ~. How about you?” に対して、答えが “I like ~.” の子どもに挙手をさせて答えさせ、ALT と子どものやりとりへと移行する。段階を踏んで徐々に子どもと子どもへのやりとりへと広げ、全体でこのしりとりに取り組み、やり方や表現に親しませてからグループで取り組ませることによって、このゲームができそうだという安心感をもたせるとともに、繰り返しこの表現に触れさせる。

**【視点2より】積極的に自分の好みを伝えたり、相手に好きかどうか尋ねたりする活動**

ペアで注文する共通のメニューを選ぶという場面に設定することで、相手に伝えたい思いをもたせる。“I like ~. How about you?” の表現を使い伝え合うことで、ドリンクバーとサラダバーで注文したいものを決めさせる。相手の答えに対しては、表情やジェスチャー、“I see.” 等で反応を示しながら伝え合うようにさせることで、相手意識をもって聞くようにさせる。活動の途中で、“I see.” の抑揚の付け方等の工夫が見られた子どもを紹介する「Sharing Time」を設けることで、次のやりとりでは、さらに相手意識をもちながら聞こうとする意欲を高めたい。